



学校だより

1月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

今こそ、大いに学ぶとき

学校長 柳澤 潤

明けましておめでとうございます。

横浜の正月三が日は、日本晴れが続き暖かく穏やかでした。今年もまた、元朝の雄大な富士を見て、一年の平穏無事を願いました。

皆様におかれましては、健やかに清らかな気持ちで新年をお迎えのことと思います。本年も本校の教育活動に対しまして、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

子どもたちは、19日ぶりの登校です。例年にないロングの冬休みでした。久しぶりに会う子どもたちは活気に満ちています。正門入り口の花壇は、地域の方が手を入れてくださり、葉牡丹が鮮やかです。寒い休み中に、飼育小屋のうさぎの世話をしてくれた子どもたちもいます。おかげで、モカとジョンファニー（2羽のうさぎの名前です）が元気です。校舎は、2年生の教室の床を全面貼り替え、ぴかぴかになりました。気持ちよく、新年がスタートしました。

さて、元旦の新聞紙上は、世相として厳しい評価の言葉があふれました。不確実、断絶、分断、逆境、不透明などの言葉が象徴的です。常識が崩れ、複雑で、予測不能な変化の時代がやってくるといいます。このような時代を生き抜く子どもたちにあっては、困難をむしろチャンスととらえ、主体的に課題にかかわること、協働的かつ創造的に課題解決に向かうことが求められます。未来の創り手である子どもたちに、本当に必要な力は何か。そして、その力をどのように身に付けていけばよいのかが問われています。

この3月には、学校教育のよりどころとなる学習指導要領が改訂されます。時代の変化を見通して、子どもたちに必要な資質・能力を明らかにし、「不易と流行」を踏まえた改善が図られます。今、教育の在り方は大きく変わろうとしています。道徳や外国語活動の教科化や、アクティブラーニングという言葉も話題になっています。私たち教職員は、変化のときは変革のときとの心意気で、大いに学び続ける教師集団でありたいと思います。

酉年の本年、学校生活の中で子どもたち一人ひとりが輝くように、そして、教職員は、どこまでも一人ひとりと向き合い、励ましを与えるように、「ひとりひとり」をキーワードにして、充実した楽しい学校づくりを進めていきます。そして、子どもたちが、将来の夢を描き、大きな志をもって飛躍する年であってほしいと思います。そのためには、「今」を大切にして、具体的なチャレンジの目標を決め、着実な日々の学習、小さな日々の挑戦を開始しましょう。

子どもの成長は、私たち大人の大きな喜びです。本年もより一層、子どもを取り巻く保護者・地域・学校が、努めて情報交換の場をもち、三者が連携した具体的な支援と温かなまなざしで、「ひとりひとり」の健やかな成長を支えていきたいと思ひます。